

I 第36週の発生動向 (2015/8/31~9/6)

- 手足口病については、県内すべての保健所管内で**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の96人から72人に減少しました。
- RSウイルス感染症については、患者報告数が前週の9人から30人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。

II 第36週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
	小児科 内科														
インフルエンザ															0
RSウイルス感染症	1	0.13	2	0.22	17	1.70	1	0.20	9	1.50			30	0.71	21
咽頭結膜熱	5	0.63	1	0.11	2	0.20	1	0.20					9	0.21	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.13	5	0.56	24	2.40			4	0.67	1	0.25	35	0.83	7
感染性胃腸炎	17	2.13	12	1.33	7	0.70	4	0.80	4	0.67	14	3.50	58	1.38	-3
水痘			2	0.22					2	0.33	2	0.50	6	0.14	-3
手足口病	64	8.00	80	8.89	72	7.20	28	5.60	115	19.17	118	29.50	477	11.36	-87
伝染性紅斑	2	0.25			2	0.20	1	0.20	5	0.83	1	0.25	11	0.26	3
突発性発しん	3	0.38	5	0.56	3	0.30	1	0.20	3	0.50	1	0.25	16	0.38	3
百日咳															-1
ヘルパンギーナ	34	4.25	10	1.11	2	0.20	10	2.00	4	0.67	12	3.00	72	1.71	-24
流行性耳下腺炎	1	0.13			1	0.10			1	0.17	1	0.25	4	0.10	-1
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33	3	1.50							6	0.55	0
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											5	5.00	5	0.83	3
無菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

- 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市3人、弘前1人、八戸1人、上十三1人 (2015年計:208人)
- アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、八戸1人 (2015年計:9人)
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 東地方+青森市1人 (2015年計:13人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- 手足口病患者(咽頭ぬぐい液、7/7~7/8)・・・コクサッキーウイルス A16 型、ヒトライノウイルス A 及び HHV6B: 弘前1人、コクサッキーウイルス A16 型及びヒトライノウイルス A: 弘前1人

感染症の窓

日本脳炎 (四類定点把握疾患)

日本脳炎は、フラビウイルス科に属する日本脳炎ウイルスの感染による急性脳炎です。日本脳炎ウイルスは主にコガタアカイエカ(右図)によって媒介され、蚊に刺されて感染した増幅動物(ブタ)の体内でいったん増えて血液中に出てきたウイルスを蚊が吸血し、その蚊がヒトを刺した時に感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。

臨床症状として、6日~16日間の潜伏期を経て、典型的な症例では数日間の高熱(38~40℃)、頭痛、嘔吐等で発病し、急激に項部硬直、意識障害等とともに、筋強直、脳神経症状等が現れます。感染しても発症する割合は100~1,000人に1人程度であり、大多数は無症状に終わりますが、発症した場合の死亡率は20~40%で、幼児や高齢者では死亡の危険性が大きくなります。

日本ではワクチンの定期接種により日本脳炎の流行が阻止されていますが、厚生労働省では毎年夏に、ブタの日本脳炎ウイルス抗体獲得状況から、間接的に日本脳炎ウイルスの蔓延状況を調べています。それによると、毎年日本脳炎ウイルスを持った蚊が発生し、国内でも感染の機会はなくならず、2014年は全国で2人の患者が報告されました。2015年は現時点(第35週)で全国での発生はありませんが、注意が必要です。

予防対策の中心は蚊の対策と予防接種です。蚊に刺されないように注意しましょう。なお、ワクチン接種についてはお住まいの市町村にご相談ください。



図: コガタアカイエカ
(出典: 国立感染症研究所HP)

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第26週～2015年第36週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌感染症1人				侵襲性肺炎球菌感染症1人	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌感染症12人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌感染症7人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19		アメーバ赤痢1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2		急性脳炎1人		破傷風1人		
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	腸管出血性大腸菌感染症1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症4人	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	アメーバ赤痢1人		水痘(入院例)1人	レジオネラ症1人		
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	腸管出血性大腸菌感染症2人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		アメーバ赤痢1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第26週～2015年第36週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2		3		2	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1		1			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19	2		1	1	2	
30	H27.7.20 ~ H27.7.26		1	2			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2	2	1			1	1
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	1	2	3		1	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	1	1				1
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	3	1	1	1	1	
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	1		3		2	
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	3	1	1		1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2015年第1週～第34週累計)

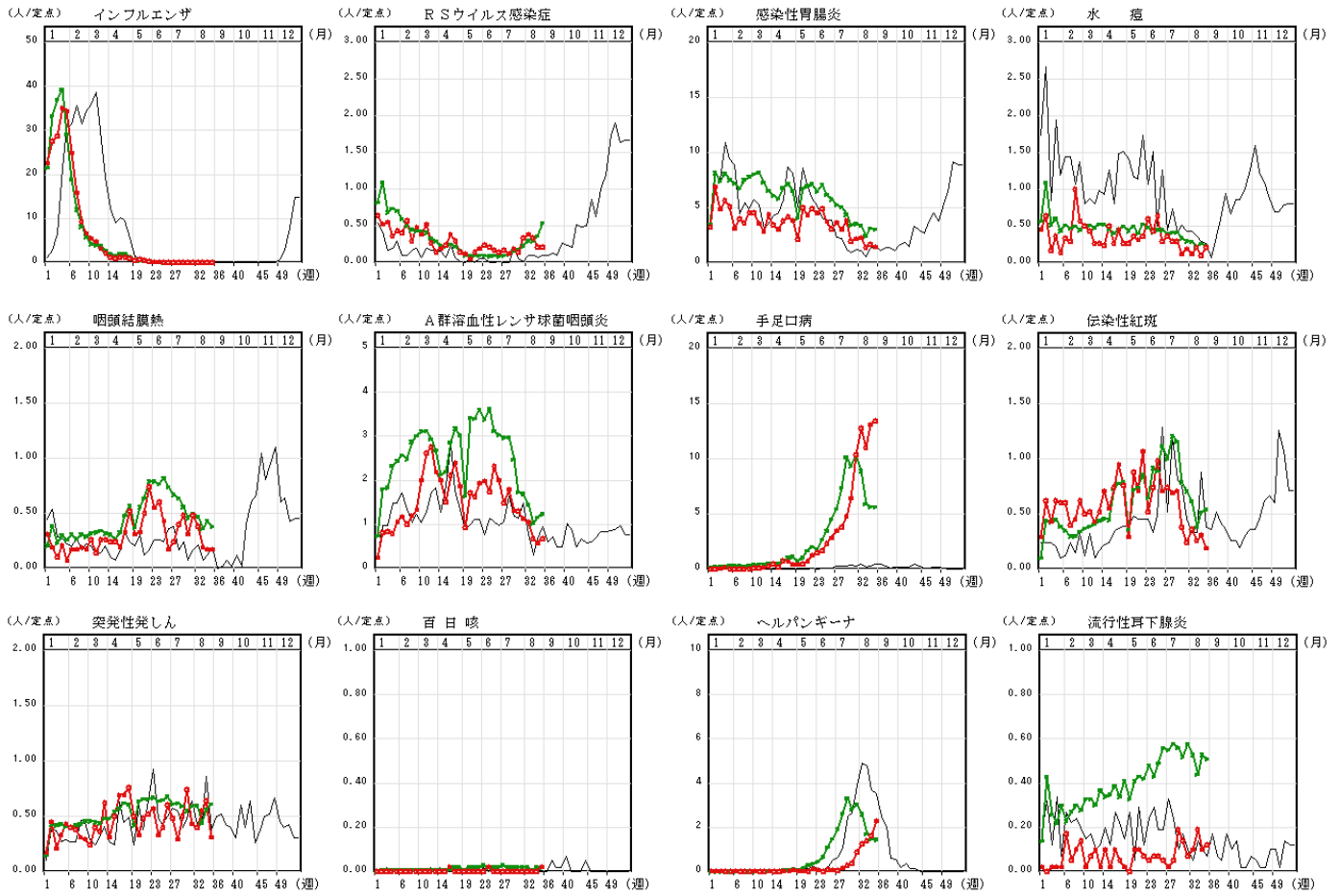
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクシジオテス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つがが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	野兔病	ライム病	レジオネラ症	
累積報告数	15490	3	103	2224	22	23	126	171	8	5	3	2	42	11	76	162	99	4	25	1	7	938	
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クワイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クブコックス症	破傷風	パルモマイコン前性肺炎球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アンネクトリクター感染症				
累積報告数	9	715	159	957	336	9	115	291	918	48	164	22	1561	205	1511	74	72	39	123	27	23		

青森県 (2015年第1週～第36週累計)

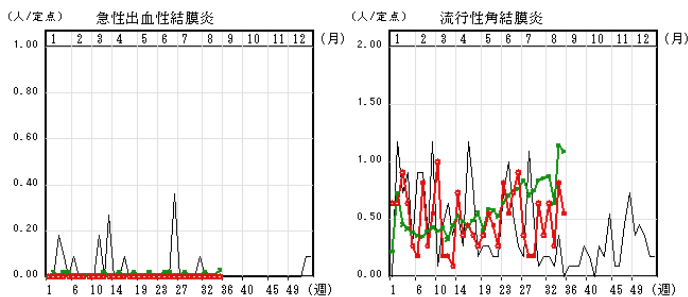
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つがが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クワイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風				
累積報告数	208	43	1	8	2	9	1	13	2	1	1	2	2	14	3	5	1				

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第35週)

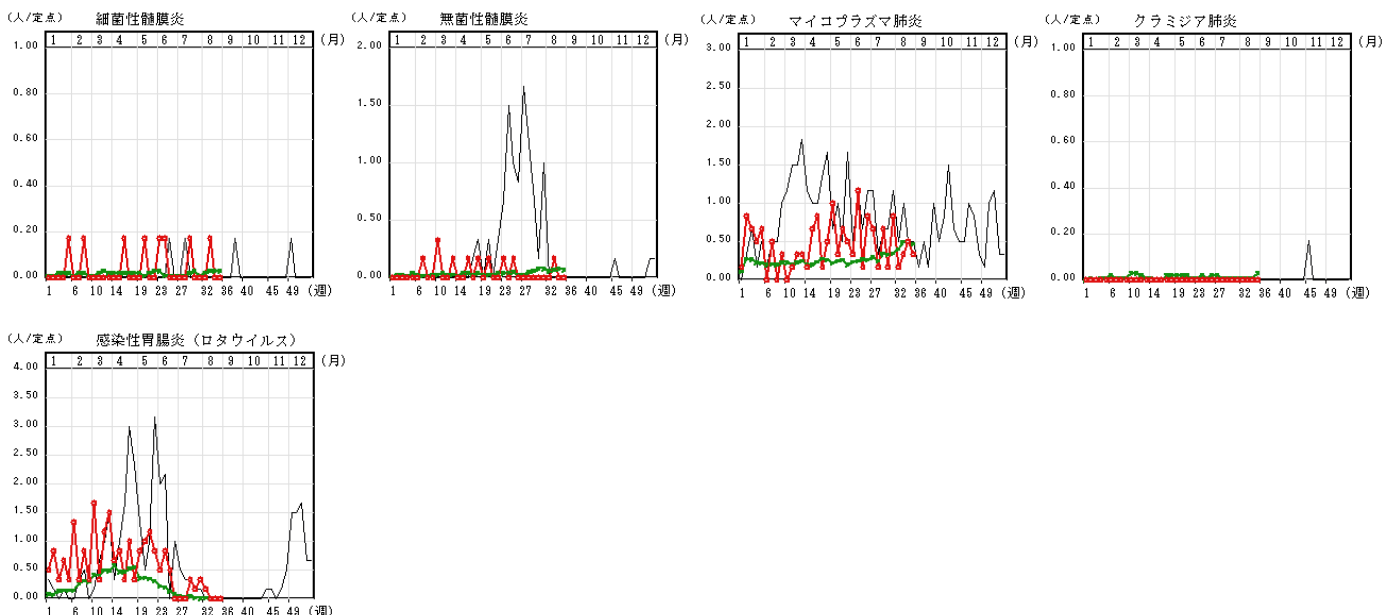
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第35週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第35週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第36週は報告がありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	428